

NETIS登録番号	技術名称	小口止用サイドブロック			
QS-140005-A	副題	小口止用ブロックの積み上げによる安全性、施工性の向上			
分類1	河川護岸	多自然型護岸工	ブロック積(張)工	キーワード:安全・安心、工期短縮	
分類2	共通工	擁壁工	コンクリート擁壁工		
開発目標		省人化、安全性の向上、工期短縮			
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術 <input type="checkbox"/> 準推奨技術 <input type="checkbox"/> 活用促進技術 <input type="checkbox"/> 設計比較対象技術 <input type="checkbox"/> 少実績優良技術				
特許	<input type="checkbox"/> 有り(特許番号:) <input checked="" type="checkbox"/> なし				
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	インフラテック株式会社		TEL	050-3085-9434
	住所	鹿児島県鹿児島市与次郎2-7-25		E-MAIL	shima@inftratec.co.jp
	担当者	島 佳奈子			
実績件数 H26.7.31現在	国土交通省		その他の公共機関	民間等	
	4件		10件	0件	

技術概要: (300字以内)

河川護岸及びブロック積み擁壁の小口止に使用するブロックです。型枠設置、撤去が不要なので、ブロック積みとほぼ同時に施工でき、施工性、安全性の向上が期待できます。また、積みブロックを施工する重機で設置可能です。

■期待される効果

- ・型枠の設置、撤去が不要なため、工期短縮が可能となる。
- ・現場打ちでの足場支保工が不要で、ブロック積みと同時施工が可能のため、高所作業が軽減でき、安全性、施工性が向上する。

■適用範囲

①適用可能な範囲

- ・河川護岸及びブロック積み擁壁工の小口止工、横帯工
- ・適用勾配: 1:0.3~0.5
- ・適用寸法: 幅300mm
- ・適用高さ: 5m(5m以上については別途検討を要する)

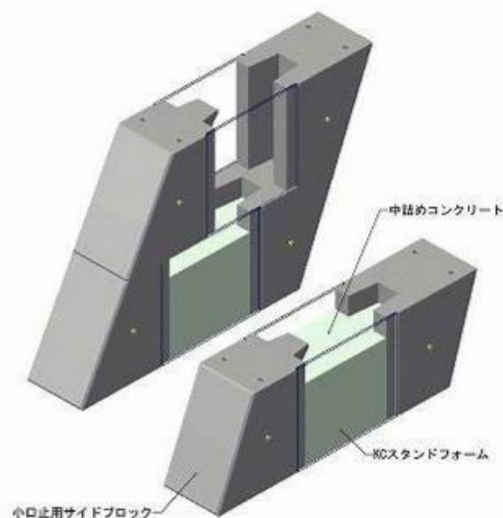
②特に効果の高い適用範囲

- ・工期短縮を図りたい工事

■施工方法

- ① 基面整正および敷モルタルを平らに敷き均す。
- ② 所定の位置に、前面ブロックと背面ブロックを設置し、水平を確認する。
- ③ それぞれのブロックにSアンカーボルトを挿入する。
SアンカーボルトとD13鉄筋を結束線にて連結する。
- ④ 事前にカット、穴あけしたKCスタンドフォームをセットし、穴の部分に専用セパレータを取り付ける。
- ⑤ それぞれのブロックの側面にあるインサートを用い、固定アングルでKCスタンドフォームを固定する。
- ⑥ 中詰めコンクリートをブロック高さの8分程度まで打設する。
- ⑦ 所定の位置にガイドピンを設置し、次の段のブロックを重ねる。その後に固定アングルを取り外す。
- ⑧ ②~⑦の作業を繰り返し行なう。

次段の中詰めコンクリートは、上下のコンクリートが一体となるよう打設する。
生コン投入口、KCスタンドフォームに設けた充填確認用穴にて充填確認を行う。
インサート穴、最上段のガイドピン用穴はモルタルで埋める。



製品形状イメージ

